

七栗サナトリウムへの入院・転院のご案内 リハビリテーション科

七栗では回復期リハビリテーション病棟106床と一般・療養病棟でリハビリテーションが行えます。

Q: どのような症状・病気の方が入院リハビリを受けられるのでしょうか？

脳卒中片麻痺
嚥下障害(必要なら胃ろうも当院で作れます)
高次脳機能障害：脳損傷後の記憶の障害や社会的行動の障害
廃用症候群
失語症（コミュニケーションの障害）のみでも入院可能
骨折
脊髄損傷など



Q: 訓練は厳しいですか？

回復期リハビリ病棟では週7日訓練を行っています。体力に合わせたプログラムを組みますので安心してください。病棟と連携し、休憩をとるかたもみえます。週7日訓練の利点は、運動を覚えるときに休みを入れると忘れてしまうという皆さんの経験と同じです。

Q: 高齢でも大丈夫ですか？

90歳代のかたも元気にリハビリをされています。年齢というよりも、病気による運動制限や意欲の有無によってリハビリの成果がかわってきます。

Q: 入院中の一日のスケジュールはどうなりますか？

療法士との訓練は一日最大3時間あります。病棟では状態にあわせ、入浴・体操・日常生活の実践を行っています。ご家族の方はご都合の良いときにリハビリや病棟生活を見学してください。

Q: 入院相談から入院までどのくらいの期間かかるのでしょうか？

病棟、男女により違ってきますが、通常入院相談から1-3週間前後で入院いただいております。お早めにご相談いただくとスムーズな入院となります。

Q: 七栗でリハビリを行うメリットは何がありますか？

三重県最大数のリハビリテーション科専門医と1病棟（54床）に対して31名の療法士が病棟と協同してより良い時期に地域や社会に戻るためのリハビリテーションを提供しております。また、日常生活動作・麻痺改善に対する様々な方法を導入しており成果を得ております。このような体制は三重県には七栗のみです。



入院までの手続き

患者様の病状を把握させて頂き、私たちがどのようなリハビリをさせて頂きうるかなど、ご理解戴いて入院頂けるよう、入院相談に来て頂いています。

1.入院相談方法

入院相談をご希望の方は、現在の主治医からの診療情報提供書、患者様ご本人の健康保険証、病状のわかるレントゲン写真をお持ちの上、総合受付窓口にお越しください。入院相談では、これまでかかった病気、現在の病状および治療経過、リハビリの希望、患者様が今なされている日常生活動作などお聞きします。

入院相談日：月曜日から土曜日までの午前中

受付：8:45～11:30、土曜日のみ11:00迄

ご相談いただく方の病状等によっては、受診日のご指定をさせていただく場合がございますので、ご了承ください。なお、入院相談はご家族のみの受診で可能です。

2.入院の判定

入院適応の可否については、外来入院相談により判定いたします。判断に検討を要する場合は、数日後にお返事させていただきます。

3.入院日の連絡

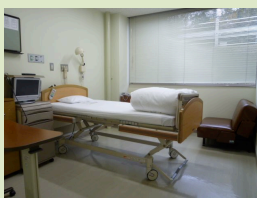
入院日は、入院していただく部屋の目途がたち次第、医事課入院担当よりご連絡します。

*入院日の調整、入院手続きなどに関するお問い合わせは、事務部（医事課入院担当 宮田）までご連絡をお願いします。

また、入院適応についてのご相談、見学案内のご希望など、事前に相談が必要と思われましたら、事務部（医事課入院担当 宮田）、医療福祉相談室（医療ソーシャルワーカー 下村、板谷、戸谷）、までご連絡をよろしくお願いします。

平日：8:45～17:00、土曜日：8:45～12:30

当院施設の一部（各病棟に個室、大部屋を整備しております）



2階病棟個室



2階病棟4人部屋



訓練室

入院相談ご来院時に病棟と訓練室をご案内いたします

<連絡先>

藤田保健衛生大学七栗サナトリウム

住 所 三重県津市大鳥町424-1

電 話 (059) 252-1555 ファックス (059) 252-1383 <代表>

HPアドレス <http://www.fujita-hu.ac.jp/HOSPITAL4/>

メールアドレス hp-hp4@hp.fujita-hu.ac.jp